

---

## 掲示板

倅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

掲示板

### 【Nコード】

N5380A

### 【作者名】

倅

### 【あらすじ】

とある有名なミュージシャン優が、ある日掲示板を見ていた。

いつからこうなってしまったのか…。僕が有名になってしまったから？君たちと近くなりすぎた…から？

『聞いて〜！今日優と会っちゃったvもうすぐ格好よかった』  
あるファンサイトでの掲示板の書き込み。最初は大物ではないがミュージシャンである僕に会って喜んでくれてるんだ…、そんな事を思っていた。ファンの子達が喜んでくれるなら…、僕を応援してくれるなら…僕はこの子達の望みをできる限り叶えてあげたかった。  
『はあ？優がそんなところにいるわけないじゃん。嘘ついて優の気をひこうとしても無理だよ』

しかしそんな僕の気持ちとは裏腹に、ファンの間で起った中傷。僕の心にもトゲが刺さる。繰り返される言い合い、止まらない中傷と罵倒。

『最近そついうの多すぎ。ウザくない？』

何より大切な君たちの口からそんな言葉は聞きたくない…。やめたと心が鳴く、見たくないと言いはれ、僕は君たちのお陰でここにいるんだよ？なのに君たち同士が傷つけあっても、嬉しくないよ。僕がここにいるが為に傷つけあうなら、僕はここにいたくない。

滲む視界でキーボードを叩く。

『…お願い、そんな言い合いは止めて。優しく包んで応援してくれたいように、君たちも…優しい君たちでいて。』

それから僕は掲示板は見なくなった。ファンにも近づかなくなった。

ファンは減った。

でも君たちが痛い言葉を使わなくなったなら、それでいいと思う。  
だから僕はついてきてくれる君たちの為に曲を綴ろう。  
瞬間でも僕を愛してくれたあの子達にも、感謝と謝罪を。

『君たちがいたから僕は今ここにいて、ありがとう。そしてごめんなさい』

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5380a/>

---

掲示板

2011年1月11日03時47分発行